

平成 29 (2017) 年度 東北大学法科大学院入学試験 一般選抜 (後期)
試験科目: 民事法 (商法)

第 1 問

株主総会の決議について株主が特別の利害関係を有する場合および取締役会の決議について取締役が特別の利害関係を有する場合 (具体例をそれぞれ 1 つずつ挙げよ) について、会社法はどのように規制しているか。簡潔に (5 行程度) 説明しなさい。

第 2 問

A 株式会社の代表取締役 B は、A 社を代表して、C 社から商品を購入する契約を結んだ。ところが、その後、B を取締役を選任した A 社株主総会決議について決議取消判決が下され確定した。会社法上、本件契約につき A 社が履行義務を負うか否かについて、簡潔に (5 行程度) 説明しなさい。

第 3 問

公開会社と公開会社でない会社 (非公開会社) とでは、募集株式の発行に関する権限の所在について、どのような規律の違いがあるか、また、それはなぜか。簡潔に (5 行程度) 説明しなさい。

第 4 問

ある取引が「事業の譲渡」(会社法 467 条 1 項 1 号・2 号) に該当するか、「(重要な) 財産の処分」(会社法 362 条 4 項 1 号) にとどまるかは、どのように区別されるか。簡潔に (5 行程度) 説明しなさい。

第 5 問

A 株式会社は、B 株式会社の総株主の議決権の 3 分の 2 を超える議決権を有しているが、金銭を対価として B 社の少数株主をすべて B 社から退出させ、B 社を A 社の完全子会社にしたい (B 社が A 社の完全子会社に吸収されて消滅するのでもよい) と考えている。会社法上、どのような方法が考えられるか、簡潔に (5 行程度) 説明しなさい。